

# 兵庫教育大学がリードする 教職大学院の新たなかたち

教職大学院の新しい取り組みとして、教育政策リーダーコースとグローバル化推進教育リーダーコースを平成28(2016)年4月に開設しました。両コースはこれまでにない画期的なカリキュラム構成と授業形態を採用しており、教職大学院では全国初めての試みです。新聞・ニュース報道でもしばしば取り上げられているとおり、社会の動向と子どもたちの教育環境を取り巻く状況は、少子高齢化、グローバル化等の進行、地域社会の教育力の低下、等々変化の激しい時代を迎えています。加えて新しい時代の教育や地方創生の実現に向けて学校と地域の連携・協働の在り方等、教育行政とりわけトップである教育長に求められる資質能力は重要なものとなっています。本学では数年前から市町村の教育長を対象としたセミナーを全国展開して継続していますが、その間、新教育長の養成と現職教育長の学び直しのための本格的な大学院プログラムの創設を計画してきました。それが教育政策リーダーコースです。それぞれの市町村、地域で独自の課題はあるでしょうが、教育長に求められる本質的な資質を探求していただきたいと思います。

一方、グローバル化対応として本学には平成20(2008)年に大学院修士課程で開始した「海外協力教育プログラム」(27年度末で廃止)がありました。そこでわかったことは、意欲ある現職教員は国境を越えた学校現場の交流を望んでいることでした。世界の学校現場を知ることは、日本の今の学校現場を客観的に観察することができます。そこでグローバル化推進教育リーダーコースでは、昼間勤務する現職教員等を対象とし、英語力強化はもちろん、自らが十分な国際交流のマネジメント能力を身に付けることを目的としています。

教育政策リーダーコースの基本的な授業形態は、土・日を中心に教員が出向いての講義とVOD(ビデオ・オン・デマンド)の視聴による授業と休業中の短期間の集中授業です。グローバル化推進教育リーダーコースは、VODの視聴による授業と、土・日・夜間・長期休業期間を利用して神戸ハーバーランドキャンパスにて行われる集中講義を組み合わせた形で行われます。また海外も含めたフィールドワークや実習を多く取り入れたカリキュラムになっています。今後の発展を多くの教育関係者に期待していただきたいと思います。

学長 ふくだ みつ ひろ  
**福田光完**

学長室から  
MESSAGE

